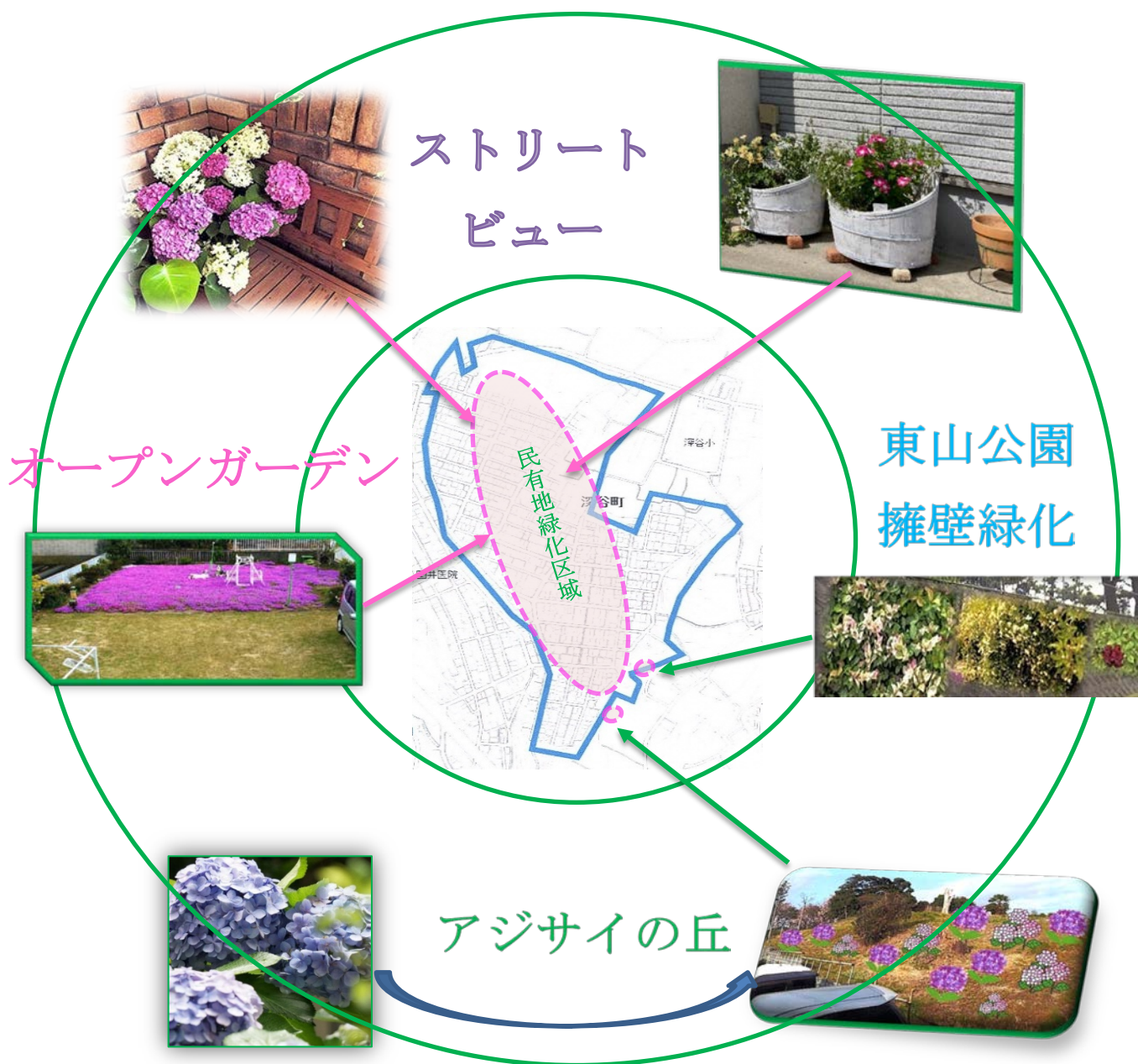


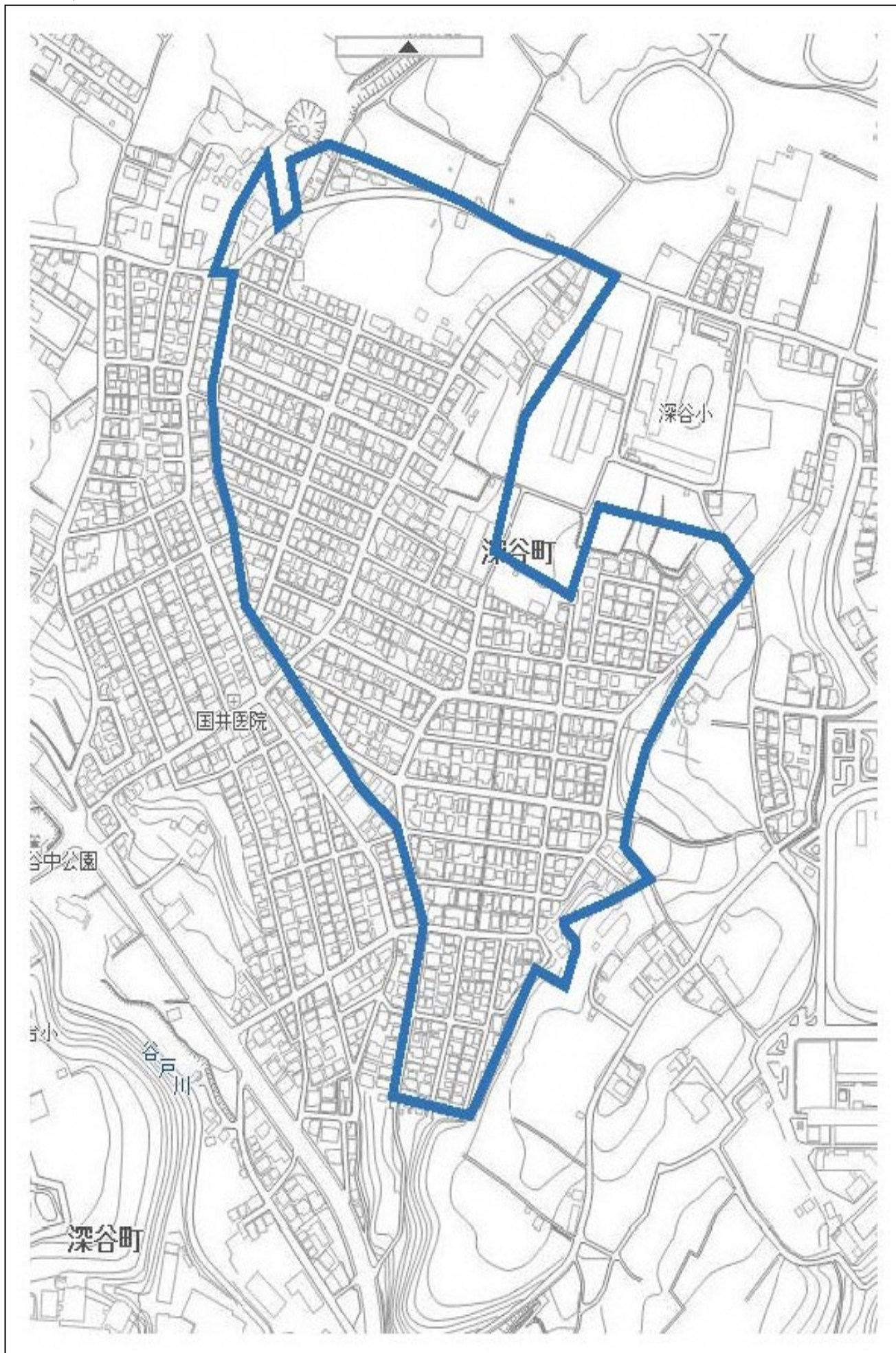
深谷町東山地区 地域緑化計画書

計画名：アジサイと草花で飾るまちづくり計画

推進団体名：東山自治会緑のまちづくり実行委員会



地区の範囲



<p>計画期間</p>	<p>令和4年度 ～ 令和6年度</p>
<p>計画の目標</p>	<p>《提案計画の目標》 高齢化が顕著な自治会を緑のまちづくり計画を通じて対話と環境改善で新たな生きがい作りをめざします。</p> <p><具体的な目標></p> <p>① 既存住宅地は民有地緑化ゾーンと位置付けて、ストリートビュー&オープンガーデンの連なったフラワーロードとし、東山公園擁壁を含めた植栽を進め地域の緑化活動に取り組みます。</p> <p>② 自治会内の各通りに名称を命名し、アジサイを中心とした緑化で通勤・通学・生活者の新たな癒しと愛着の持てる緑のまちづくりを目指します。</p> <p>③ 集会所は活動の拠点として運営会議、会員相互の懇親・懇談などのコミュニティーの場とし活用、階段下は資材倉庫として、苗床は持続可能な緑のまちづくりの拠点として有効活用を図って行きます。</p> <p>④ 隣接する雑木林はアジサイを中心に四季を通じた植栽で愛着性と管理の負担軽減や持続性を持たせる。また、雑木林の防災・環境対策、子ども達への安全対策としての効果を育み、いっとき休憩所の緑化も進める。</p>
<p>課題及び背景</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・60年の歴史を有し高齢化率は高く、高低差のある戸建住宅地で擁壁や階段が多い事、バス停までの道路は狭く坂道も多く、新たな観点での景観づくりや地域の活性化が求められている。 ・自治会内は主な通りでブロック毎に大別され住民の一体感に欠ける。 ・既存の住宅地敷地内では草花を楽しむ家も多くみられる一方、空き家空地も目立ち、ゴミ集積場のカラス対策など環境面からの課題も抱えている。 ・高齢化の進行で居住者間、世代間の交流も希薄で、地域の活気が失われてきていると実感している。 ・住宅地に隣接する雑木林は防災面、景観面、安全面からも何らかの対応が必要であると感じている。
<p>課題解決及び効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地内の緑化はストリートビュー&オープンガーデンでフラワーロードとしてバス停までを草花による緑化や休憩所を設ける事により、地域の環境改善と癒しの空間作り、高齢化社会の見守り活動にも効果が期待できる。 ・通りの名称募集は住民と小学校への声掛けで世代間交流を育み、プラントに表示する事で親しみが持て自治会内通りがわかりやすくなる。 ・アジサイを中心とした記念樹化や垂直擁壁を活用した緑化は、小学校とも連携して取り組み世代間交流と新たな視点での活性化を図る。 ・地主の了解を得た空地の苗床は持続可能な拠点として、草花や花木の生育や実践講習の場として活用と環境改善が期待できる。 ・隣接する雑木林をアジサイの記念樹として会員から募集することで住民の一体感、維持管理の効率化と防災・安全面からの期待と効果が考えられる。 ・集会所は緑アップ活動の拠点とする事で、講習会場、写真や絵画の展示場、おしゃべり会など世代間の交流の場として効果が期待でき、資材倉庫の設置も行う。

<p>組織づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の下部組織として位置づけ、各種推薦委員や各種任意団体を網羅して地域ぐるみで活動ができる体制をとる。 ・自治会の公園担当理事（4名）を自治会の窓口として、情報収集や計画の進捗確認、方針の伝達等を担う役割とする。 ・計画進行に当たっての業務（企画・研修・整備・広報）は、役割分担で出来る限り負担軽減を図り持続可能体制とする。 ・定例会は原則月 1 回の開催を前提とし、自治会に対しては毎月の定例理事会や定期総会に進捗状況を報告し住民全体として情報の共有化を図る。
<p>計画期間中の緑化整備及び活動の概要について</p>	<p><民有地緑化・景観木保全></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民有地緑化については、ストリートビュー&オープンガーデンとして一連のフラワーロードの位置づけで通りから見える擁壁や玄関先などアジサイや草花で緑化を進める。 ・隣接の雑木林はアジサイを人生の節目の記念樹として植栽を進め、住民が愛着の持てる持続可能な活動として進める。 ・東山公園擁壁の緑化やいっとき休憩所の整備・緑化で地域の環境改善を図る <p><地域緑化活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の緑化が行われている家屋はストリートビュー&オープンガーデンで懇談の場を通して見守り活動の一翼を担い賛同者・協力者の拡大を図る。 ・寄せ植え講習会や苗床管理は定期的運営を通じてPRの強化や記念アジサイ賛同者の口コミ強化で新たな参加者の発掘に心がける。 ・活動拠点の集会所は会員相互間の交流の場として最大限活用しフォト展の開催や雑談・懇談・おしゃべりを通じて新たな意見吸収を図る。
<p>計画期間終了後の活動について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な活動を図るため横浜みどりの推進団体への登録や土木事務所との連携で花苗・種子の提供、技術支援、園芸用資材等の支援が受けられる体制を整える。 ・空き地の苗床については雨水タンクを設置し、継続的な維持管理ができる仕組みを整える。 ・活動期間終了後を見据えた協力体制の構築としてお助け隊（ボランティア団体）を中心とする地域貢献活動を維持する。 ・活動期間中に学んだ管理体験を継続するためのマニュアルを作成し今後の新しい担い手の備えとする。
<p>資金計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動期間中の緑化整備の自己負担部分について、アジサイ記念樹は自治会記念事業会計の費用を充当する。 ・自治会としては自治会会計より定期的な資金助成を計画し継続性を図って行く。 ・資金のかからない活動への工夫として、苗床の活用で花苗は種まきからの育成に力を注いでいく。 ・将来的には会費の徴収も検討課題とする。

計画年次	計 画 内 容
<p>1年度目 (令和4年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○民有地の緑化 <ul style="list-style-type: none"> ・ストリートビュー&オープンガーデン沿いは一連のフラワーロードとして民家の塀・擁壁の緑化活動を進める。 ・アジサイ丘用地の設計・整備と植栽、記念樹を含めた緑化活動の推進と東山公園擁壁の緑化推進、いっとき休憩所の整備と緑化を進める。 ○地域緑化活動 <ul style="list-style-type: none"> ・苗床開設・整備と雨水タンクの設置と維持管理、寄せ植え講習会の開催や既存緑化家屋の緑化推進とフォト板の設置とフォト展・緑コンテストの開催・広報紙の発行、プランタ用ステッカーの作成。 ・定期的な緑化推進の為の維持管理活動（花苗・寄せ植え講習会、苗床の実務管理）
<p>2年度目 (令和5年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○民有地の緑化 <ul style="list-style-type: none"> ・ストリートビュー&オープンガーデン沿いは一連のフラワーロードとして民家の塀・擁壁やアジサイの丘整備と緑化、東山公園のさらなる緑化推進と維持管理の徹底を図り、いっとき休憩所の整備と緑化を進める。 ○地域緑化活動 <ul style="list-style-type: none"> ・苗床の維持管理（育成の為の実務と管理、種植え等）、定期的な緑化維持管理活動（花苗・寄せ植え講習会年・苗床の実務管理等、フォト展、緑のコンテスト開催、広報誌の発行、プランタ用ステッカーの作成） ・活動内容の点検、反省点の洗い出し等々総括を通じての見直しを行う。 ・用具倉庫の設置と開設
<p>3年度目 (令和6年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○民有地の緑化 <ul style="list-style-type: none"> ・ストリートビュー&オープンガーデン沿いは一連のフラワーロードとして民家の塀・擁壁等のさらなる緑化推進と維持管理の徹底を行う。 ・アジサイの丘の整備と緑化、東山公園の緑化推進、いっとき休憩所の整備と緑化を進める。 ○地域緑化活動 <ul style="list-style-type: none"> ・苗床の維持管理（育成の為の実務と管理、種植え等）、定期的な緑化維持管理活動（花苗・寄せ植え講習会・苗床の実務管理等、フォト展、緑のコンテスト開催、広報誌の発行、プランタ用ステッカーの作成） ・今後の活用に向けてマニュアルの作成を進める。
<p>創意工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・坂道・道幅の狭い地域の特色を生かした小スペースで塀や擁壁を活用した緑化手法を取り入れた。 ・アジサイに特化した記念樹化による親しみと癒し、維持管理の省力化、防災・子供の安全など多義にわたる効果を目指した取り組みとした。 ・寄せ植え講習会後の完成品は重いため必要な方には配達方法を検討する。

●民有地各通りの緑化推進
(ストリートビュー&オープンガーデン)

*新規・既存住宅地の緑化を進める。



*苗床管理、花苗実践講習会の推進する。



(苗床設置空き地)

(雨水タンクの設置)

・苗床は雨水タンクの設置と花苗の育成、定期的な実践教育の場として継続性を図る。

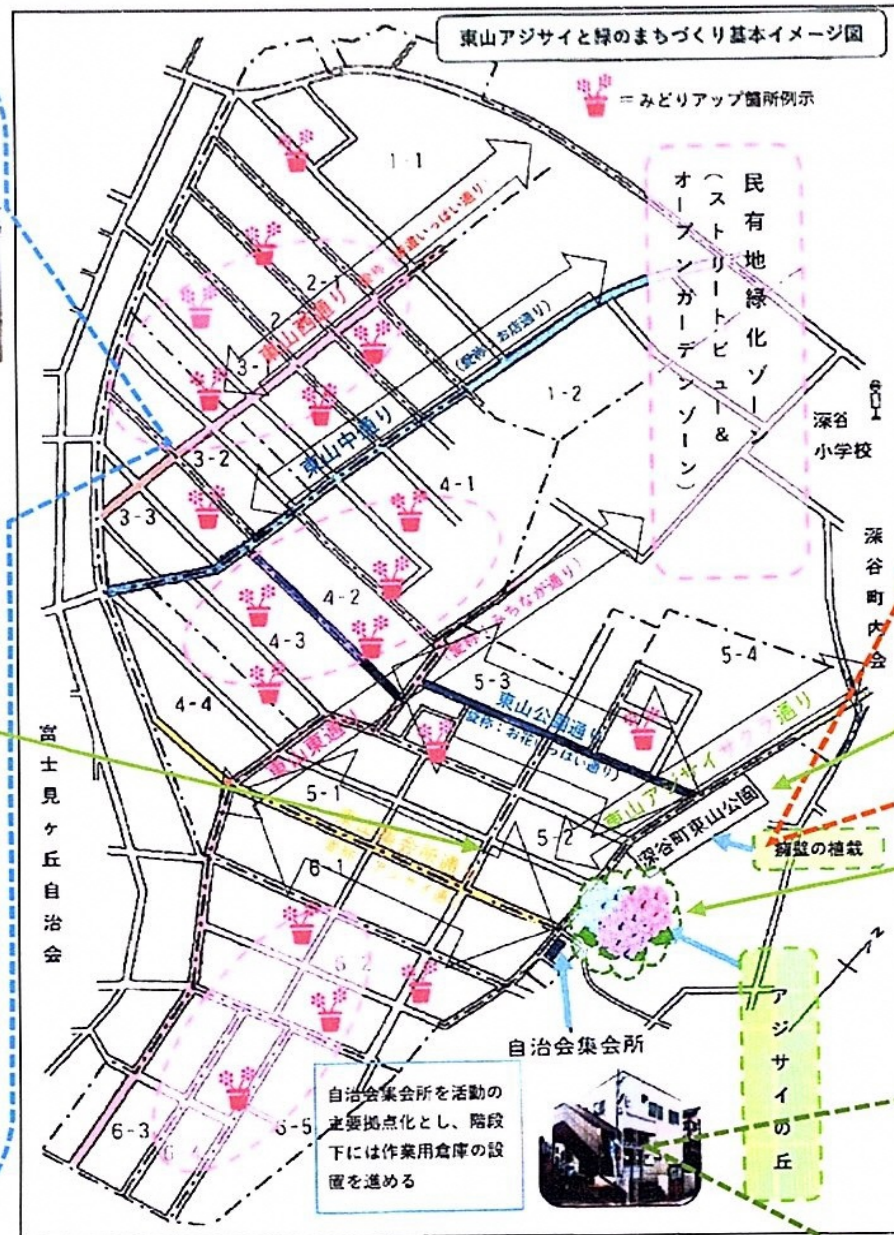
*寄せ植え講習会の定期開催と広報の定期的な開催を行う。
(フォト展、緑コンテストの開催、緑のニュース発行)



(寄せ植え講習会)

(フォト展掲示板)

(緑のニュース)



●東山アジサイサクラ通りの緑化推進
(アジサイとフラワーロードゾーン)

*バス停までの主要道路のアジサイとフラワーゾーン、東山公園の擁壁や垣根のつる性植物の緑化を推進する。



(民有地の塀)

(民有地の草花)

(公園の擁壁)

*雑木林をアジサイを中心とした四季の木々の植樹やアジサイ記念樹として事業の継続性を図る。
*いっとき休憩所の整備と緑化を図る。



(アジサイの丘イメージ図)



(いっとき休憩所イメージ図)

●集会所は活動の拠点とする



(会合やコミュニケーションの場として活用する)

(階段下に資材倉庫を設置)

(階段沿いに広報板設置)

●プランタに名称表示 (シールで表示)



(プランターの表示例)

●自治会の体制と今後の基本的計画

- ・組織体制は自治会を中心に、自治会内の主要団体を網羅した体制で持続可能な体制を構築する。
- ・当面はアジサイ丘の推進と東山公園擁壁の緑化を主体に進め、個人宅の緑化は会員募集活動と合わせて会員の意向に沿って緑化の推進を図る。
- ・内部研修や各種講習会は季節に合わせて開催し、定期的な寄せ植え講習会では、完成鉢は高齢者や子ども達には配達に工夫を凝らし負担軽減をはかり愛好者の拡大を図る。
- ・定期的な広報活動の推進 (フォト展やニュースの発行) 緑の表彰制度も検討する。
- ・計画期間終了後の維持管理に向けてマニュアル化を進め持続性のある緑化事業を目指す。
- ・資金計画は自治会会計から定期的な資金助成やアジサイ記念樹は寄付を中心に募り資金面の補完と愛着性を持たせた今後の維持管理の為の人手を担保する。又、今後必要により会費の徴収も検討する。

概算事業費（単位：千円）（注1,5）

助成項目	細目	1年度目（令和4年度）	2年度目（令和5年度）	3年度目（令和6年度）	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限	
1 民有地緑化	①設計等経費	800	400	400	1,600	100%以内	
		(主な内容) アジサイ記念樹植栽用地設計費 400 新規花壇等設計費 400 (概算@2万×20件)	(主な内容) 新規花壇設計 400 (@2万×10件、@4万×5件)	(主な内容) 新規花壇設計 400 (@2万×10件、@4万×5件)			
	②緑化整備等経費 (注2)	3,200	2,900	2,400	8,500	90%以内	
		(主な内容) *アジサイの丘用地の工事・整備・植栽費 2000 *花壇・プランタ・ネッキング等設置 400 *アジサイ・草花ロード緑化費一式 400 *東山公園整備・植栽一式 200 *いっとき休憩所整備と緑化一式 200	(主な内容) *アジサイの丘工事・整備・植栽費一式 1600 *花壇・プランタ・ネッキング等設置 500 *アジサイ・草花ロード、緑化費一式 400 *東山公園植栽一式 200 *いっとき休憩所整備と緑化一式 200	(主な内容) *アジサイの丘の工事・整備費・植栽費 800 *花壇・プランタ・ネッキング等設置 600 *アジサイ・草花ロード緑化費一式 600* 東山公園植栽一式 200* いっとき休憩所整備と緑化一式 200			
合計額 (注9)	4,000	概算事業費 3,300	概算事業費 2,800	10,100			
	(助成見込額)	3,680	(助成見込額) 2,610	(助成見込額) (2160)	8,450		
2 景観木保全	①調査費	0	0	0	0	100%以内	
	②診断書作成費	0	0	0	0	100%以内 (上限20千円/本)	
	③治療費	0	0	0	0	③と④は各景観 木1本につき、 100%以内 (上限50千円/ 本)	
	④環境整備費	0	0	0	0	100%以内 (上限50千円/ 本)	
	合計額 (注9)	概算事業費 0	概算事業費 0	概算事業費 0	0	0	
	(助成見込額)	(0)	(助成見込額) (0)	(助成見込額) (0)	0		
3 地域緑化活動 (注3)	①維持・管理費	660	710	710	2,080	100%以内	
	②広報・研修費	200	200	200	600	100%以内	
	③事務費	100	50	50	200	100%以内 (上限100千円/ 年度)	
	④諸雑費	40	40	40	120	100%以内 (上限40千円/ 年度)	
	合計額 (注9)	概算事業費 1,000	概算事業費 1,000	概算事業費 1,000	3,000	①～④の合計 1,000千円以内 /年度	
	(助成見込額)	(1000)	(助成見込額) (1000)	(助成見込額) (1000)	3,000		
年度ごとの合計 (注4,6,7,8)	概算事業費 5,000	概算事業費 4,300	概算事業費 3,800	13,100	総合計	助成見込額の3年度の 総合計が15,000千円以内	
	(助成見込額) 4,680	(助成見込額) 3,610	(助成見込額) 3,160	11,450			

(記入時の注意事項)

注1：各細目には、提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費（予定金額）を記入してください。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）を記入してください。

注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。）

注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。

注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は3年度で15,000千円が助成金額の上限となります。

注5：千円単位で記入してください。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）

注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。

注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）

注8：上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（2年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）

注9：各項目内における細目の合計欄には、概算事業費（予定金額）と、助成見込額の合計を記入してください。なお、助成見込額には、（ ）を付けてください。